

なすまどか議員が一般質問を行いました

9月6日、なすまどか議員が一般質問を行い、コロナ禍での女性や子どもが抱える課題などについて取り上げました。

女性や子どもが抱える困難を具体的につかむ調査を！

コロナ禍の中で、女性の自殺が増加しています。女性労働者の56%が非正規雇用のもとにおかれ、コロナ禍の中、飲食業、観光業などで失業や減収に追い込まれ、生活の糧を失う事例も少なくありません。ステイホームが強いられるもとで家庭的責任を重く担わされ、DV被害が増加しているとの報告もあります。

なす議員は、自殺や生活苦の原因を詳細につかむための実態調査を行うよう要望。市からは、「各局と連携して必要な対策を実施することが必要なので、生活実態調査について検討したい」との答弁がありました。

また子どもに関する課題も深刻です。出生までに亡くなった胎児に占める死産の割合が、非貧困層12%に対し、貧困層が18%と1.5倍になっているなど、貧困の問題が生まれてくる前の子どもの命にまで影響しています。なす議員は、コロナ禍での子どもの生活実態調査を行うよう要望。市からは、「新型コロナウイルス感染症の影響の把握



を含めた実態調査を検討したい」との答弁がありました。

日本共産党 熊本市議会だより

熊本市中央区手取本町1-1
発行：日本共産党熊本市議

NO. 1251
2021年9月26日号
電話 328-2656
FAX 359-5047



メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp

HP：共産党熊本市議団

検索



上野みえこ
(中央区)



なすまどか
(東区)

(返す必要のない奨学金)

市独自の給付型奨学金の実現を！

学生の2人に1人が奨学金を借りなければならず、返済が必要な貸与型を借りた場合、卒業後の返済額は一人平均約300万円に上ります。雇用と収入が不安定で、奨学金を返済できない

というケースも多く、サラ金並みの厳しい取り立て、訴訟なども若者を追い詰めています。

なす議員は、給付型奨学金(返す必要のない奨学金)を市としても実施するよう求めました。

大西市長「方向性を早い時期に示せるよう制度設計をする」

給付型奨学金については、大西市長の公約にも掲げられています。答弁に立った市長からは「一定の方向性を示せるよう制度設計をしていく」との答弁

がありました。市長の任期があと1年余と迫る中、来年度からの実施が求められます。



不登校の児童や生徒への援助

・居場所づくりを進める団体への支援を！

学校に行けなくなった児童や生徒に対して、支援を行っている熊本学習支援センターという団体があります。同センターには、小学校から高校生まで120名が在籍。現役を退いた教師やボランティアの大学生が、子どもたちの成長と学習に向き合い、特に家庭に問題を抱えるケースや発達

に困難を抱えた子どもたちのケースなどに対応しています。しかし、少ない運営費のなかで、手弁当で働くなど、苦労している実態もあるとのこと。

なす議員は、市として同センターへの支援を要望。

市からは「助成は可能であり、相談していく」と答弁がありました。

就学援助の改善で、安心の学びを！

予算を増額し、PTA 会費・生徒会費・部活動費やアルバム代支給へ

新入学児童生徒学用品費支給が改善され、早まります

上野みえこ議員は、教育市民委員会で昨年度の決算報告を踏まえて、対象項目の増、入学準備金支給など、「就学援助制度」を改善するよう求めました。

「PTA 会費・生徒会費・部活動費」 政令市でも支給が広がっています

日本共産党市議団がくり返し求めてきた、「PTA 会費・生徒会費・部活動費」の支給は、全国的には広がってきました。

下表のとおり、PTA 会費は小中学校ともに3市で支給されています。

児童・生徒会費は、小学校1校、中学校6校の支給です。

部活動費は、小学校2市、中学校3市で支給されています。

熊本市は、学用品費を市独自に増額していることを理由に、支給していませんが、全国の政

市民の声に応え、委員会で求めてきた新入学の学用品費支給が改善され、少し早く支給されます。「第1期」「第2期」の2段階受付により、支給時期を早

めますが、「第2期」に間に合わなかった場合は6月支給です。対象の子どもすべてが年度内支給となるよう、引き続き子どもの立場での改善が必要です。

＜申請の方法＞ (2022年4月入学予定の児童生徒から対象)

【内容】

1、新入学児童生徒学用品費の入学前支給を受けることができる人

*以下の1～3の要件すべてに該当する人です。

- (1)申請日に熊本市内に居住している
- (2)2022年4月に熊本市立・熊大附属の小学校・中学校に入学予定
- (3)就学援助の要件に該当する(以下の5点)

- ①生活保護の停止・廃止の決定
- ②市民税非課税
- ③国民年金掛け金の免除
- ④児童扶養手当支給
- ⑤その他、経済的理由で生活に困窮している世帯

2、手続き

- (1)申請場所・・・入学予定の熊本市立の小中学校
熊本市教育委員会指導課 (Spring 熊本花畑町5階)

(2)受付期限

「第1期」：2021年12月10日(金)⇒支給予定は2月上旬
 「第2期」：2022年1月28日(金)⇒支給予定は3月上旬
 *1月29日以降の受付については、6月支給となります。

(3)申請に必要なもの

- ①2022年度就学援助申請書
- ②申請要件に応じた公的証明書
- ③印鑑
- ④振込先の通帳の写し

3、支給内容

(1)支給額(1人につき)

小学校入学：51,060円 中学校入学：60,000円

(2)支給方法 □座振り込み

4、お問い合わせ 市教育委員会指導課 ☎ 096-328-2716

【政令市の支給状況】

PTA 会費		児童・生徒会費		部活動費	
小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
新潟市	新潟市	大阪市	大阪市	横浜市	横浜市
川崎市	川崎市		札幌市	大阪市	大阪市
横浜市	横浜市		仙台市		川崎市
			新潟市		
			川崎市		
			横浜市		
3市	3市	1市	6市	2市	3市

政令市20市の状況を見るならば、支給を具体的に検討していくべきです。



「アルバム代」支給も、声をあげていきましょう！

市民から要望の強い「アルバム代」支給も、政令市のうち福岡市・名古屋市・川崎市・仙台市などが支給しています。